

平成 29 年度 支援教育実践研修 E（病弱に関する内容） 実施要項

1 目 的 病気の子どもに関する知識や技能についての認識を深め、一人一人の障がいの状態や教育ニーズに応じた指導方法や指導内容等、実践的な指導力を高める。

2 対 象 者 幼稚園、小・中学校、義務教育学校、府立高等学校(岸和田市立の定時制の課程を含む)、府立支援学校(八尾市立特別支援学校を含む)の教員

募集人数 20名

3 研修内容等

回	日 時	研 修 内 容	講 師 等
1	9月22日(金) 14:00~17:00	病気の子どもの理解及び指導の実際 〔講義・演習〕	府立支援学校教員等 大阪府教育センター 指導主事等

4 会 場 大阪府教育センター（大阪市住吉区苅田4丁目13番23号 電話 06-6692-1882）

地下鉄御堂筋線「あびこ」駅下車、東北東へ約700m
JR阪和線「我孫子町」駅下車、東へ約1,400m
近鉄南大阪線「矢田」駅下車、西南西へ約1,700m

5 担 当 室 支援教育推進室

6 そ の 他 (1) 受付は30分前から
(2) 印鑑を持参すること
(3) 来所時には、所属名・名前が入った名札を着用すること
(4) 自家用自動車・バイク等で来所しないこと

一括募集3

平成 29 年度 研修のシラバス

1. 研修名	支援教育実践研修E（病弱に関する内容） （研修番号 2263）
2. 研修の目的	<p>病気の子どもの教育に関する知識や技能についての認識を深め、一人一人の障がいの状態や教育ニーズに応じた指導方法や指導内容等、実践的な指導力を高める。</p> <p>目 標</p> <p>① 子どもの実態把握に基づいた指導の在り方、「個別の教育支援計画」と「個別の指導計画」の作成・活用について理解する。</p> <p>② 一人一人の教育ニーズに応じた指導の実際を考える。</p> <p>「OSAKA 教職スタンダード」該当項目：第1期 10, 第2期 10~12・15, 第3期 10・11</p>

3. 研修課題とねらい等

回	研修課題	ねらい	内容	準備物・事前課題
1	病気の子どもの理解及び指導の実際	「個別の教育支援計画」と「個別の指導計画」に基づいた指導の実際を知る。	<ul style="list-style-type: none"> ● 病弱の特性を踏まえ、子どもの実態把握に基づいた目標・指導内容の設定について理解し、「個別の指導計画」を作成・活用する力を高める。 ● 実践発表を通じて「個別の教育支援計画」と「個別の指導計画」に基づいた一人一人の教育ニーズに応じた指導の実際を知る。 ● 自立活動の指導の実際を知る。 ● 合理的配慮、基礎的環境整備を指導・支援にいかすことについて考える。 	
		支援機器等、アシスティブテクノロジーを子どもの支援に活かす方法を学ぶ。	講義を通して、支援機器等を活用した支援の実際を知る。	